

2018年3月26日

## IoT分野におけるトータルソリューション強化に向け 「Things Cloud<sup>®</sup>」推奨デバイス制度を開始

NTTコミュニケーションズ（以下 NTT Com）は、IoT分野におけるトータルソリューション強化の一環として、IoT Platform「Things Cloud<sup>®</sup>\*1」との通信確認がとれたセンサーデバイスや IoT-GW<sup>\*2</sup>を定める「Things Cloud<sup>®</sup>」推奨デバイス制度を2018年3月26日より開始します。

これによりお客さまは、「Things Cloud<sup>®</sup>」に対応した多数のセンサーデバイスや IoT-GW から用途に応じて最適なものを選択し、迅速に安全な IoT 環境を構築することが可能となります。

### 1. 背景

企業が IoT を導入する際に、データを収集するセンサーデバイスや IoT-GW を用途に応じて適正に選定することが重要です。そこで、NTT Com は、お客さまが IoT で解決したい多様な課題に迅速に対応できるよう、予め「Things Cloud<sup>®</sup>」との通信確認がとれたセンサーデバイスや IoT-GW のラインアップを拡充することで、IoT ソリューションの強化を目指します。

### 2. 概要

「Things Cloud<sup>®</sup>」推奨デバイス制度の概要は以下のとおりです。

#### (1) 対象デバイス

センサーデバイス、IoT-GW

#### (2) 推奨基準

センサーデバイスや IoT-GW を扱う企業が、NTT Com が定めた試験項目について「Things Cloud<sup>®</sup>」と通信試験を実施し、その結果を NTT Com へ報告していただきます。試験結果について問題がなかった場合、後日 NTT Com より推奨対象となった旨の通知を行います。（【別紙 1】参照）

#### (3) 申請方法

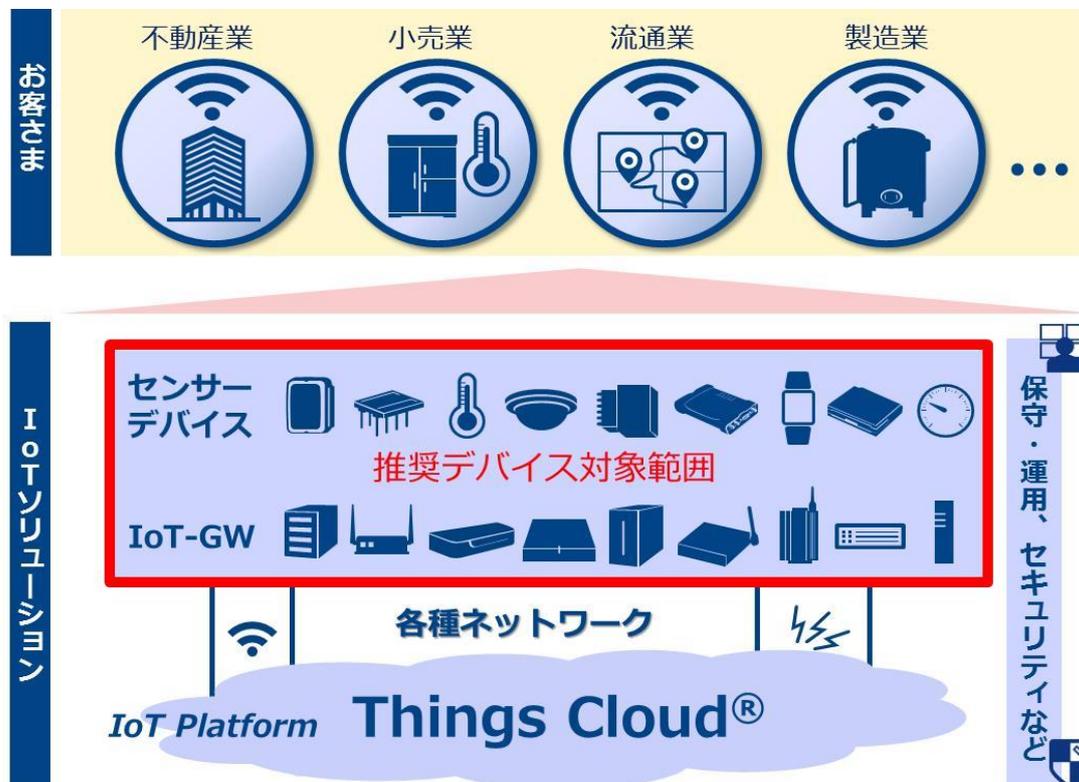
「Things Cloud<sup>®</sup>」との通信試験を実施したい旨を、申請窓口（[tc-device@ntt.com](mailto:tc-device@ntt.com)）宛にご連絡ください。試験項目表の送付、および「Things Cloud<sup>®</sup>」の検証環境の貸出を行います。

#### (4) その他

推奨対象となったセンサーデバイスや IoT-GW は、「Things Cloud<sup>®</sup>」の開発者向け Web サイト<sup>\*3</sup>に掲載するとともに、NTT Com が参加する各種展示会などで紹介させていただきます。

### 3. 今後の展開

NTT Com は、センサーデバイスや IoT-GW を扱う企業の皆さまと協力し、推奨デバイスのラインアップを拡充するなど、「Things Cloud®」を活用した IoT トータルソリューションを多くの業界に展開することで、お客さまのビジネス創造に貢献してまいります。



(図 1 : IoT トータルソリューションにおける推奨デバイス対象範囲)

※1 : 「Things Cloud®」は、NTT Com が提供している IoT Platform の名称。デバイス接続からデータ収集、可視化、分析、管理など IoT の導入に必要な機能・プロセスを、多彩な機能やさまざまなシーンを想定したテンプレートの活用により、ノンプログラミングで簡単・短期間で実現できる。

※2 : IoT-GW は、センサーから送られるデータを受信・加工し、「Things Cloud®」へデータを送信する機能を具備した機器。IoT 環境の構築には必須の機器。

※3 : 「Things Cloud®」の開発者向け Web サイト

<https://developer.ntt.com/iot/docs/concepts/introduction.html>

【別紙 1】 NTT Com が定めた主な試験項目と確認内容

No	項目	確認内容
1	デバイス認証	<ul style="list-style-type: none"> <li>- デバイス認証情報を登録できる</li> <li>- デバイスを登録できる など</li> </ul>
2	データ送受信	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 数値やテキストなどのデータを送信できる など</li> </ul>
3	デバイス制御	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 「Things Cloud<sup>®</sup>」からのデバイス制御情報を取得し、デバイス制御を行うことができる など</li> </ul>
4	双方向通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>- long-polling 形式<sup>※1</sup>でリアルタイムに「Things Cloud<sup>®</sup>」からの通知を受け取ることができる など</li> </ul>
5	非機能要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>- デバイスが再起動した後に正常に再接続・通信できる</li> <li>- 48 時間継続的に通信が成功する</li> <li>- デバイス登録、接続、通信エラーなどの基本的なログが取得できている</li> <li>- デバイスの交換シーケンス（データ引継ぎ）をサポートしている</li> <li>- サポート窓口がある など</li> </ul>

※1 : long-polling 形式とは、クライアント側からのリクエスト(要求)に対し、サーバー側がレスポンス(応答)を保留してコネクションを維持する技術です。

注 : 上記は 2018 年 3 月 26 時点における、認定項目の一部です。(すべてが必須項目ではありません)。市場の状況などを考慮し、適宜見直す可能性があります。